

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム まごころ

作成日: 平成 28年 11月 8日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくなるよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	避難経路については推進会議で話し合いが持たれ、部分的に居室の柵を取り除く事で掃き出し窓の避難も出来るよう対策を講じられているが、段差も大きく幾分避難の困難さが窺われた。将来的にスロープ等の設置を検討され、より安心、安全に避難できるような工夫に期待したい。	①個々の入居者様の状態に応じた避難経路方法を随時見直し、非常時における避難を円滑に行えるようにする。 ②避難口や避難経路の状況を改めて確認し、安心して安全な避難が出来るような検討を行う。	①入居者様の避難方法を見直し、必要があればその入居者様に適した避難方法の変更を行う。 ②個々の入居者様の避難方法をスタッフ全員が認識できるよう周知徹底を行う。 ③避難訓練を今後も毎月計画し継続的に実施する。 ④現況の避難口(避難経路)を改めてチェックし安全な避難状況が出来るかを確認する。 ⑤避難口(避難経路)の改善に関して経営者やスタッフと検討を行う。 (ホームや入居者様の状態に適した避難口(避難経路)の改善を検討する。	12ヶ月
2					ヶ月
4					ヶ月
3					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。